

計画の目的

本計画は、2022年9月に表明した、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「東員町ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向け、町民、事業者、行政が連携して温室効果ガス排出量の削減をめざす計画です。



東員町
ゼロカーボン
シティ宣言

計画の期間

本計画は、2024年度を初年度とし、国・県の計画期間を踏まえて、2030年度を目標年度とします。また、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

町全体の目標

町民、事業者、行政の連携のもとに積極的な二酸化炭素排出量の削減、再エネの導入を推進し、2030年度には2013年度排出量から50%削減にチャレンジします。

中期目標を達成後は、さらに取組を進展させ、2050年度には排出量実質ゼロの実現を目指します。

二酸化炭素削減目標

長期目標
(2050年度)

二酸化炭素排出実質ゼロ実現

中期目標
(2030年度)

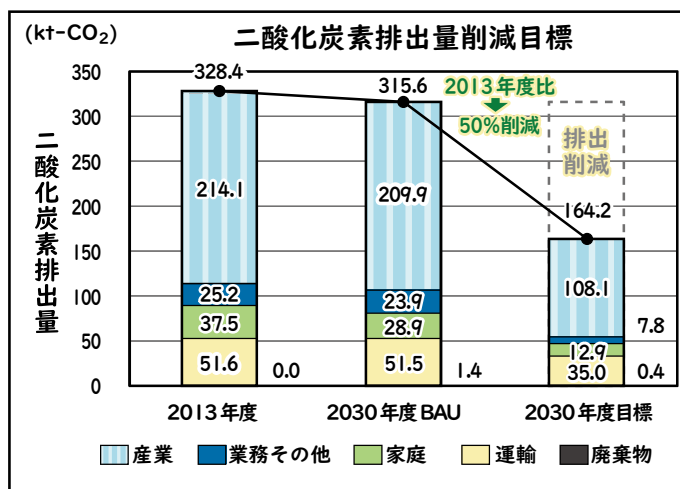
2030年度の二酸化炭素排出量を
2013年度比で**50%削減**

再生可能エネルギー導入目標

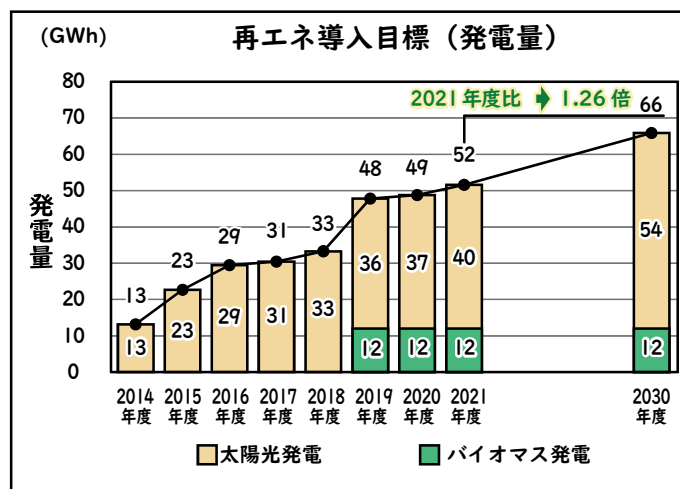
中期目標
(2030年度)

2030年度の再生可能エネルギー導入量を
2021年度比で**1.26倍に増加**

二酸化炭素削減目標



再生可能エネルギー導入目標



取組施策

目標達成に向けた基本施策と取組施策は以下のとおりとします。取組施策は、今後の技術開発等により見直しを行い、充実させることで脱炭素化を加速します。

1. 省エネルギー対策の推進



- 1-1. 省エネ設備の導入促進
- 1-2. 省エネ家電の普及促進
- 1-3. 省エネ性能に優れた建築物・住宅の導入促進
- 1-4. 次世代自動車の普及促進

2. 再生可能エネルギーの活用



- 2-1. 事業所・住宅への再エネ・畜エネ設備の導入促進
- 2-2. 再生可能エネルギー技術の導入に関する調査検討

3. 資源循環とごみ排出量の削減



- 3-1. 3R+Renewableの推進
- 3-2. プラスチックごみの削減
- 3-3. 食品ロスの削減

4. 地域の特性を踏まえた対策の推進



- 4-1. 環境保全型農業の推進
- 4-2. 地産地消の推進

5. 脱炭素型ライフスタイルに向けた行動変容の推進



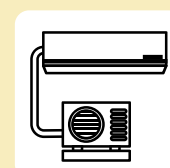
- 5-1. 脱炭素型ライフスタイルの普及啓発
- 5-2. 環境に配慮した消費行動の普及
- 5-3. 情報発信・交流の場の設置
- 5-4. 町役場の率先行動の実現

東員町の取組事例

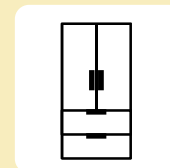
省エネ家電購入補助キャンペーン



東員町は、令和5年度に省エネ家電購入補助金キャンペーンを行い、古い製品から省エネ性能のいい製品への買い替えを促進しました。今後もこうした取組を推進することで、家庭での『省エネ家電』の普及を促進し、二酸化炭素排出量の削減を図ります。



エアコンを買い替えると、平均で年間242kWhの節電となり、電気代が年間7,382円の節約となります。また、年間105kgのCO₂排出量削減に貢献することができます。



冷蔵庫を買い替えると、平均で年間283kWhの節電となり、電気代が年間8,783円の節約となります。また、年間125kgのCO₂排出量削減に貢献することができます。

町役場の目標

東員町役場の率先行動（東員町第2次エコプラン）として、公共施設の二酸化炭素排出削減、再エネ導入を推進し、2030年度には2013年度排出量から52%削減にチャレンジします。

町役場の二酸化炭素削減目標

中期目標
(2030年度)

2030年度の二酸化炭素排出量を
2013年度比で**52%削減**



公共施設へのLED照明の一括導入

東員町は、令和5年度よりLED照明一括リース方式による公共施設の照明のLED化を進めています。このような公共施設全体のLED照明一括導入は三重県では初の取組となります。今回のLED照明の導入により、公共施設の消費電力を約25%節電できると試算しています。



ゼロカーボンに向けて “ひとりひとりができること”

ゼロカーボンの実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」に、できるところから取り組んでみましょう！



ひとりひとりができること
ゼロカーボン
アクション30

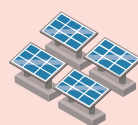
エネルギーを 節約・転換しよう！

- ①再エネ電気への切り替え
- ②クールビズ・ウォームビズ
- ③節電
- ④節水
- ⑤省エネ家電の導入
- ⑥宅配便は一回で受け取る
- ⑦消費エネルギーの見える化



太陽光パネル付き・ 省エネ住宅に住もう！

- ⑧太陽光パネルの設置
- ⑨ZEH(ゼッチ)
- ⑩省エネ・断熱リフォーム
- ⑪蓄電池等の導入・設置
- ⑫暮らしに木を取り入れる
- ⑬住宅は省エネ物件を選択
- ⑭働き方の工夫



CO₂の少ない 交通手段を選ぼう！

- ⑮スマートムーブ
- ⑯ゼロカーボン・ドライブ



サステナブルな ファッションを！

- ⑰服を長く大切に着る
- ⑱長く着られる服を選ぶ
- ⑲環境に配慮した服を選ぶ



CO₂の少ない製品・ サービス等を選ぼう！

- ⑳脱炭素型製品・サービスの選択
- ㉑個人のESG投資



環境保全活動に 積極的に参加しよう！

- ㉒植林やごみ拾い等の活動



東員町 ゼロカーボン 実現計画

みんなで「おみごと！」
幸せちょこっと
エコチャレンジ50

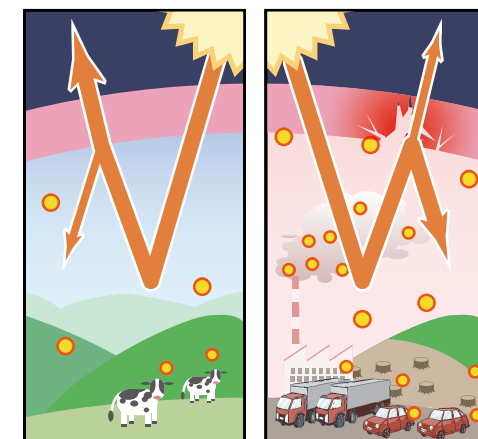
計画策定の背景

地球温暖化が進行しています。

大気に含まれる二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスは、太陽からの熱の一部を吸収し、再び放出する性質を持っています。この働きにより、地球は私たち人間の生活に適した気温が保たれています。

化石燃料の燃焼により二酸化炭素が大量に排出され、森林伐採などで吸収量が減少したため、大気中の温室効果ガスが増えており、世界中で気温が上昇しています。

温室効果ガス増加の原因（一例）



●：温室効果ガス →：太陽光の熱
温室効果ガスが増えると、太陽からの熱を多く吸収するため、気温が上昇します。

地球温暖化は私たちの生活に深刻な影響を及ぼします。

このまま温室効果ガスが増え続け、気温が上昇すると、豪雨や干ばつなどの異常気象が増加し、地球の気候が変わる（気候変動）おそれがあります。

気候変動は、異常気象や自然災害の発生を増やし、農業生産、産業経済、生態系など、私たちの生活にも大きな影響を及ぼすことが心配されています。



令和元年9月豪雨の浸水被害（東員町内）

地球温暖化の防止に向けて、積極的な行動をとる必要があります。

気候変動の危機的な状況を乗り越えるため、町民、事業者、行政など、地域の各主体が危機感を共有し、温室効果ガス排出量を削減して気候変動を緩和する（緩和策）と共に、気候変動に適応した社会を構築する（適応策）ことが重要です。

○緩和策の例○

myバッグ

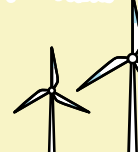
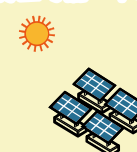
節電・省エネ

エコカーの普及



再生可能エネルギーの活用

森林を増やす



○適応策の例○

感染症予防のため
虫刺されに注意

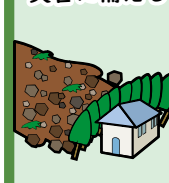
水利用の工夫

熱中症予防



災害に備える

高温でも育つ農作物の
品種開発や栽培



発行：2024年3月 東員町役場 みらい環境課
電話：0594-86-2807（直通）
メールアドレス：kankyo@town.toin.lg.jp

